



和歌山病院 ニュース

第54号 2018年4月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さんの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」を目指します。

【基本方針】

- 一 国が担うべき政策医療である結核、重症心身障害、神経難病の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 二 呼吸器疾患、神経系疾患、胸部・血管外科の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 三 開放型・地域医療支援病院として地域医療の質の向上および地域連携の充実に貢献します。
- 四 臨床研究・臨床試験に積極的に取り組み、医療の質の向上に貢献します。

【患者の権利と義務】

◇患者さんの権利

1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
3. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 治療法を選択できる権利があります。
5. 病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
6. 個人情報を守られる権利があります。
7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者さんの義務

1. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
2. 検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
3. 他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
4. 医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目次

2. 新任のあいさつ
3. 診療科の紹介 神経内科
診療部長 河本純子
4. 医療チームの紹介（認知症ケア）
認知症認定看護師 堅田弥生
4. 開放型病院19周年記念講演会を開催しました
経営企画室長 奥地 博
5. Q C活動発表会の開催について
管理課長 相浦裕文
6. 外来診療担当表・職員募集案内

新任のあいさつ



川邊 哲也

この度循環器内科医長を拝命し着任いたしました川邊哲也と申します。和歌山病院には常勤医師としては14年ぶりに再びお世話になることになりました。着任前は和歌山県立医科大学サテライト診療所医師として、高血圧症を中心とした生活習慣病の合併症予防治療や心臓病全般の治療などに従事していました。また、同大学の学生や看護師の教育にも関わっておりました。微力ではございますが、これまでの経験を活かし、今後は地域医療の充実のために尽力していく所存でございますので、よろしくお願いいたします。



太田 文典

4月より和歌山病院外科でお世話になります太田文典です。9年前にも1年間だけ勤務させて頂いておりまして今回は2回目となります。主に呼吸器乳腺外科を担当させていただきます。乳腺疾患は今までは非常勤医師体制で対応しておりましたが、これからは常勤医師体制で毎日切れ目のない診療を行う方針です。また呼吸器外科につきましても今まで通り対応していきますのでこれからも宜しくお願いします。



川嶋 沙代子

4月より乳腺呼吸器外科に赴任しました川嶋沙代子と申します。和歌山県立医大で卒後臨床研修を行い、医師として11年目を迎えました。微力ながら、地域の皆様により良い医療を提供出来ますよう日々努力していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



坂本 富士美

平成30年4月1日付けで看護部長として着任致しました坂本富士美と申します。平成2年に和歌山病院附属看護学校卒業後、大阪医療センターに就職しました。今回で8回目の異動となります。西牟婁郡で18年間過ごし、平成16年から4年余り南和歌山医療センターでお世話になりました。懐かしい和歌山の地で、母校跡を眺めながら仕事ができることをとても嬉しく思います。初めての職責で慣れないことが多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、一日も早く慣れ、当院や地域の皆様に貢献できるように頑張ります。皆様のご協力・ご支援よろしくお願い申し上げます。



福田 利明

平成30年4月1日付で、和歌山病院に着任いたしました、福田利明です。当施設で10施設目となります。新薬の審査業務等の薬事に係る業務も経験いたしましたが、管理の経験は副薬剤部長職として南和歌山医療センター2年、大阪医療センター1年と経験が十分でない中、薬剤部長の任務を命じられ当施設にやって来ました。たいへん未熟者ではありますが、精一杯、がんばりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



九鬼 勝彦

平成30年4月1日付け、人事異動により、和歌山病院に経営企画室長として着任しました九鬼と申します。和歌山病院には、5年ほど前にお世話になりました。そのころから役職も変わり、責任も増していると痛感しているところです。御坊地域の医療連携に貢献できればと思いますので、何卒、よろしくお願いいたします。

神経内科（脳神経内科）

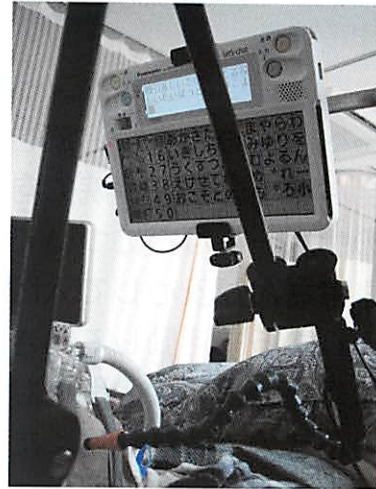
診療部長 河本 純子

神経内科は、常勤医2名、非常勤医2名で診療にあたっております。

神経内科は、どういう科なのかわかりにくいという質問をよくいただきます。科の名称が紛らわしく、精神神経科、心療内科等とよく間違えられ、受診される方がいらっしゃいます。これらの科は、精神科疾患や精神的な問題がもとで身体に異常をきたしたような病気を扱う科です。神経内科は、精神的な問題からではなく、脳や脊髄、神経、筋肉の病気を扱います。体を動かしたり、感じたり、考えたり覚えたりすることが上手にできなくなった時に神経内科の病気を疑います。日本神経学会では、神経内科の診療内容をよりよく皆様にご理解いただく目的で、今回標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」に変更することになりました。当院でも準備が整い次第、変更の予定です。とくに神経難病は神経内科で対応しています。

神経難病ははっきりした原因や治療法のないものをいいます。具体的には運動ニューロン病（筋萎縮性側索硬化症、脊髄性筋萎縮症など）、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、重症筋無力症、パーキンソン病、進行性核上性麻痺などがあります。神経難病といっても治療が有効なものや難しいものがあります。常に新しい安全な治療法を取り入れています。直接治療法がない場合でも医療がかかわることでも少しでも生活しやすくすることはできます。当院でも様々な取り組みを行っており、会話ができなくなった患

者さんには体の一部や目の動きをセンサーを用いて言葉にしてコミュニケーションがとれるようにするなど、生活の質（QOL）を改善していけるよう取り組んでいます。



当院は和歌山神経難病医療ネットワークの拠点病院であり、県内の神経難病患者さんに対する支援、受け入れに取り組んでいます。



NHO PRESS 国立病院機構通信 第6号発行しました

アンケートにご協力ください
抽選で書籍
(2冊セット)
プレゼント!

【シリーズ】セーフティネット医療～依存症治療の最前線～
【シリーズ】地域医療～九州がんセンターのがん地域連携～
【連載】こんな取り組みやっています
【連載】病院の管理栄養士が考えた あんしんレシピ
【連載】もしもに備えて

NHO PRESS

検索

http://www.hosp.go.jp/nho_press.html





「認知症ケアチーム」の活動

認知症認定看護師 堅田 弥生



平成28年10月から河本診療部長をリーダーに「認知症ケアチーム」を結成しました。認知症や認知症症状をもつ患者さんやご家族の身体面・精神面の苦痛を和らげることを目的に活動しています。

毎週月曜日にカンファレンスとラウンドを実施しています。

患者さんへの関わり方、治療を行う上での工夫点、安全な環境調整、退院に向けて必要な調整、家族へのサポートなどについて関わっています。認知症患者さんが安心して入院生活が過ごせるよう、これからも活動していきます。新聞への寄稿や研修会の開催などの情報発信も行っていますので、ご活用ください。



開放型病院19周年記念講演会を開催しました

経営企画室長 奥地 博



この度、平成30年2月24日（土）に開放型病院19周年記念講演会（地域医療支援病院講演会）を（社）日高医師会との共催により日高臨床医勉強会の一環として開催いたしました。

今回は、医療法人社団まほし会真星病院名誉院長（元国立循環器病センター中央診療部門長）鎌倉史郎先生をお招きし、「注意を要する心電図の見分け方～不整脈を中心として～」と題して講演をいただきました。

当日は地域医療機関の先生を含め40名の参加をいただき、循環器及び不整脈専門医の立場から、早急に治療を要するものや心配の無い不整脈等、数多くの心電図の例を示して解説をいただきました。

講演終了後は、地域医療機関の先生からも数多くの質問があり、盛況の内に終了いたしました。

今後も皆様方に興味を持たれるような講演内容となるよう努めて参りたいと思います。



QC活動発表会の開催について

管理課長 相浦 裕文

3月23日（金）に、第1回和歌山病院QC活動発表会を開催しました。

QCとは” Quality Control” =品質管理の略語で、QC活動とは、品質管理の手法を用いて、少グループ（チーム）により具体的な業務課題の解決に取り組み、その品質の適正保持・効率化・改善などの対策を考え、実践する活動のことを言います。

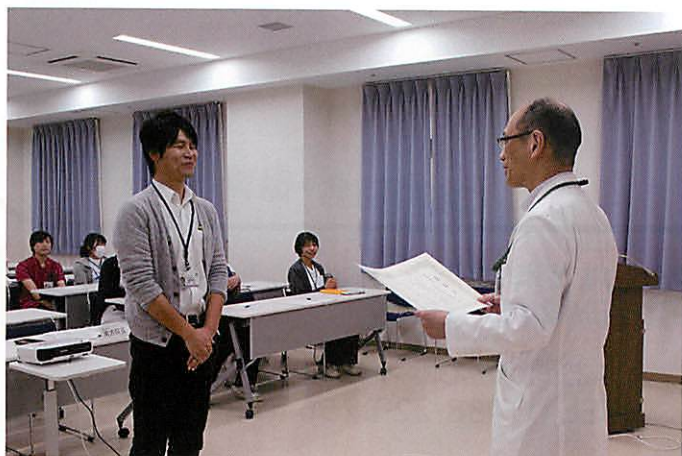
国立病院機構では、平成16年に独立行政法人化した当初より「できることから始めよう！」をスローガンに国立病院機構QC活動奨励表彰制度を創設し、QC活動を推進して来ました。

当院においても、従来から個々にQC活動を実施してきましたが、これを一同に会して発表することにより、改善手法など情報の共有化を図ると共に、優秀な活動を表彰することによって、職員の意欲向上が期待できるとして、QC活動発表会を企画しました。

発表会には看護、コメディカル、事務等の9チームが参加し、発表6分、質疑応答4分というスケジュールで進行されました。各チームが工夫を凝らした資料を元に、プレゼンテーションを実施、観客席を巻き込んだ活発な質疑応答によって初めての開催にもかかわらず大いに盛り上がりました。そして、院長他幹部5名による厳正な審査と事前に実施したポスター（プレゼン資料）投票により、以下のチームが表彰されました。

	チーム	発表タイトル
最優秀賞	ふみさんチャンネル (経営企画室)	ふみさんの凄技！「診療録記載の簡略化 (テンプレート化)」テクニック ～救急医療管理加算を例に～
ベストプレゼン賞	療介キューレンジャー (4階南病棟)	そのオムツ本当に合っていますか？
ベストポスター賞	3階南病棟	ベッド周囲の環境整備 年齢及び患者様個々に応じた療養環境を目指そう

アンケートでは「他の部門で取り組んでいる活動を知ることが出来た」等、好意的な意見が多く、概ね好評だったと言えます。今後は定期的な開催を計画していますが、発表会が当院のQC活動の更なる活性化と業務改善に繋がるよう、発表会自体の改善も図っていきたいと考えています。





		月	火	水	木	金
外科	心臓血管外科	—	岩橋 正尋	—	岩橋 正尋	—
	乳腺・呼吸器外科	—	川嶋 沙代子/ 太田 文典	—	川嶋 沙代子/ 太田 文典	太田 文典
呼吸器センター	初診	柳本 立太	南方 良章	東 祐一郎	小野 英也	川邊 和美
		東 祐一郎	山形 奈穂	村上 恵理子	—	奥田 有香
	再診	駿田 直俊	小野 英也	柳本 立太	赤松 啓一郎	—
	専門外来 (午後)	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	禁煙外来 赤松 啓一郎 (第2・4・5週)	睡眠外来 駿田(初診)
—		—	COPD外来 担当医	—	—	
循環器内科		川邊 哲也	—	川邊 哲也	岡村 英夫	岡村 英夫
内科		駿田 直俊	南方 良章	川邊 哲也	—	川邊 和美
神経内科	午前	—	—	河本 純子 (第2・4週)	—	河本 純子
		—	—	竹村 学 (初診) 診察日は*を参照	竹村 学 (初診) 診察日は*を参照	—
	物忘れ外来 (午前)	—	河本 修 (第2・4週予約のみ)	—	—	—
	午後	細川 万生	—	竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照	竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照	—

○受付時間 午前8:30~11:30

○再診については原則、予約制にしております。
(急患についてはこの限りではありません)

*注意: 神経内科 竹村医師の診察予定日

2018年
4月18日、19日 7月18日、19日 10月17日、18日
5月16日、17日 8月15日、16日 11月21日、22日
6月20日、21日 9月19日、20日 12月19日、20日

看護師募集中!(常勤)

- 募集人数:若干名
- 必要資格:看護師免許
- 勤務時間:1日7時間45分の交替制勤務(夜勤有)
- 休日:4週8休制度
- 勤務内容:病棟看護業務
- 給与:基本給:197,100円~
(短大3卒の場合)※各種手当有

問い合わせ先は管理課まで



院内宿舎・保育所あります!

ボランティア募集!

例えば...外来案内、創作(フラワーアレンジメント・押し花等)、図書(読み聞かせ・貸出等)

独立行政法人国立病院機構和歌山病院



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

広報委員会

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://wakayama-hosp.jp/>